

江南小学校

みんなの宝! 東山公園

江南、東明地区は、昭和50年代に宅地造成された住宅地です。東山公園は、地域のシンボルとして、多くの住民がとても大切にしてきました。

毎朝、ラジオ体操が行われ、その後、参加者全員でゴミ拾い清掃もしています。毎年、夏には「東明ふるさと祭り」が開催され、今年度で37回目でした。災害のときは、一次避難所になっていて、いろいろな工夫がされています。



学校の南側には東山公園があります。そこにはブランコや鉄棒、すべり台があります。いつもここで遊んでいます。

東山公園は雑草もあまり生えていなし、芝生があつてきれいです。ゴミもあまり落ちていませんでした。誰が公園をきれいにしているんだろう。



防災倉庫にはポートまであってびっくりしました。遊ぶだけの公園じゃなかったのです。すごいなと思いました。



地域の人たちが掃除をして大切にしていることが分かりました。



いいね! 『実家の茶の間』

平成3年から自然発生的に始まり、現在は、新潟市の「地域包括ケア推進モデルハウス」となっています。誰もが利用できる居場所です。そして、居場所から支え合いの地域づくりにつなげていきます。

学校の北側の紫竹にはおもしろい家がありました。たくさんのお年よりが一軒の家に集まっていた。「実家の茶の間・紫竹」というそうです。地域のいろいろな人が自由にきて、お話をしたり、お茶を飲んだり、遊んだりしていることが分かりました。



『実家の茶の間』は地域の誰がいつでも行ってもいいことが分かりました。みんなが仲良く、このまちで暮らせるようにするために河田さんが中心になってつくったそうです。

『実家の茶の間』には仲良くするためにルールもあります。いない人の話はしない。など仲良くするための工夫があるなんて初めて知りました。



自分たちの学びを広めよう! (下山小学校との交流)

同じ東区で、一番離れている下山小のひと、もの、ことを学ぶことで、江南地区のことが、もっとよく分かるかな。



東山公園、実家の茶の間の様子を伝えました。

下山には「やわはだねぎ」という特産のねぎがあります。



お互いにとても良い勉強になりました。これからもなかくしてくださいね。

やわはだねぎは関東方面のホテルやお店で使うと分かり、すごいと思いました。



下山小学校からの帰りにみなとトンネルを通り、みなとタワーに行きました。ここから、学習した新潟の町並みを見たり、冬の日本海を見たりしました。今まで学習した港や信濃川、町の様子がよく分かりました。

新潟大好き



● 子どもの声 ●



下山小学校の「やわはだねぎ」の発表は種やネギの特徴が分かりやすかったです。

クイズを取り入れて発表していたので分かりやすかったです。私も今度、発表するときに取入れてみたいと思いました。



ゲストティーチャーの本島さんに公園の歴史や地域の人が関わっていることを聞き、驚きました。

災害対策小屋について調べ、ポートがあること、高いところに作られていることが分かりました。公園を大切に使いたいです。



河田さんからお話を聞き、楽しそうなお話だなと思いました。知らない人とお話したり、お昼を一緒に食べたりしながら助け合うことがいいと思いました。

私も茶の間に何回か行き、宿題、遊びで利用しています。